



寒川 文連だより

第31号

発行
令和5年03月31日
寒川町文化連盟
会長 田中秀昭
神奈川県寒川町倉見2101-20
☎ 0467-75-7745

題 名 「 明け行く九十九谷 」

撮 影 者 田 中 秀 昭

撮影場所 千葉県鹿野山

撮 影 日 12月

九十九谷は、鹿野山山頂から望める風景で、房総丘陵の山々がうねうねと幾重にも連なりあう景観は、定評があります。

特に、夜明け直後の雲海の情景は、墨絵の世界を描き出します。



目 次（2022）

		表紙	タイトル
		表紙裏	目次・表紙の解説
	1	2022年度の総括	
文化祭	2	第53回寒川町文化祭式典	
祭	3	祭ばやし - 岡田ばやし保存会	
	4	祭ばやし - 倉見ばやし保存会	
	5	第53回文化祭美術展 - 1	
	6	第53回文化祭美術展 - 2	
	7	写友会30周年記念写真展 - 1	
美	8	写友会30周年記念写真展 - 2	
	9	写友会30周年記念写真展 - 3	
	10	婦人会作品展	
	11	婦人会 - フラワーアレンジメント	
	12	さつき秋季展 - 1	
写	13	さつき秋季展 - 2	
	14	さつき秋季展 - 3	
	15	第23回歌謡連盟発表会 - 1	
	16	第23回歌謡連盟発表会 - 2	
	17	第23回歌謡連盟発表会 - 3	
婦	18	第53回舞踊おさらい会 - 1	
	19	第53回舞踊おさらい会 - 2	
	20	第53回舞踊おさらい会 - 3	
	21	第53回文化祭書道展 - 1	
	22	第53回文化祭書道展 - 2	
皐	23	第53回文化祭書道展 - 3	
	24	第53回文化祭書道展 - 4	
	25	第53回文化祭書道展 - 5	
	26	郷土展 - 1	
	27	郷土展 - 2	
歌	28	盆栽展 - 1	
	29	盆栽展 - 2	
	30	盆栽展 - 3	

東俳華手音

菊茶

その他

薔基盆音美歌踊郷

31	お茶席（寒川東中学校家政部）
32	舞 踊（寒川東中学校家政部）
33	色紙短冊展
34	俳句大会
35	華道展 - 1
36	華道展 - 2
37	手工芸展 - はり絵
38	手工芸展 - ロマンドール
39	手工芸展 - パッチワーク
40	さむかわ音楽祭 `22 - 1
41	さむかわ音楽祭 `22 - 2
42	さむかわ音楽祭 `22 - 3
43	さむかわ音楽祭 `22 - 4
44	菊花展 - 1
45	菊花展 - 2
46	菊花展 - 3
47	呈茶席（煎茶）
48	呈茶席（抹茶）
49	野ばら文化会 - 1
50	野ばら文化会 - 2
51	野ばら文化会 - 3
52	野ばら文化会 - 4
53	寒川町囲碁連盟 - 1
54	寒川町囲碁連盟 - 2
55	春の盆栽展示会
56	さつき春季展
57	ブルーハープライブセッション
58	第53回寒川美術協会展
59	第53回寒川美術協会展
60	第31回記念発表会艶歌の競演
61	第42回浴衣ざらい
62	お飾り講習会
	役員名簿・編集後記



題 名 「 明 け 行 く 九 十 九 谷 」

撮 影 者 田 中 秀 昭

撮 影 場 所 千 葉 県 鹿 野 山

撮 影 日 12月

九十九谷は、鹿野山山頂から望める風景で、房総丘陵の山々がうねうねと幾重にも連なりあう景観は、定評があります。

特に、夜明け直後の雲海の情景は、墨絵の世界を描き出します。

2022年度（令和4年）の総括

寒川町文化連盟 会長
田中 秀昭



2019年12月から始まった新型コロナウイルス感染症は、日本ではまだ収束することはなく規制緩和と感染拡大を繰り返す状況でしたが、ワクチン接種普及効果の背景もあり、漸く新型コロナウイルスも感染症法上、季節性インフルエンザと同等に扱い、つまりマスク着用も解禁（個人判断）となりました。しかし、失われた平時の日常の社会経済活動を取り戻すには、まだまだ時間がかかると思います。そして、この3年間余のコロナ禍の中、文化連盟傘下各団体は、「うつらない、うつさない」の感染対策をとり、何とか活動、発表を継続されてきたことに感謝しますと共に、敬意を表します。

さて、そうした中、今年度を振り返ってみると、年度当初は、コロナも一時鎮静化したかにみえましたが、感染者も多く、各団体の理事さんへの連絡は書面で、理事会（総会）も書面会議でお願いしました。理事各位にはご協力ありがとうございました。

事業については、本部事業「第8回青少年文化ふれあいデー」は、コロナ禍の為、不特定多数並びに子供達の参加には、慎重を期して止む無く中止としました。

学社連携の町立小・中学校の「第13回校長会懇談会」は、3年振りに（右上に続く）

実施しました。

「小・中学校の文化的行事」は小学校は中止、中学校は実施されたが、参観は保護者のみで一般公開はなしでした。

「第53回町文化祭」は、感染対策の下、3年振りの開催、一部団体の自粛で不参加もありましたが、参加団体は日頃研鑽の結果を発表、特に中学生の「呈茶席」・「芸能舞踊会」の踊り・「音楽協会」での吹奏楽演奏及び一般の音楽サークルの参加等は、大いに文化祭を盛り上げ、意義あるものと感じました。

一方、このコロナ禍は、私たち各団体には、会員の高齢化に増して、活動、行動に制約が迫り打ちとなり、会員の減少、活動もままならず、「寒川町将棋愛好会」が文化連盟から退会したのは残念でした。

終りに、各団体には、今後、Withコロナの中で、会員の増強、文化活動の継続、継承に工夫を加え努めて頂くようお願い申し上げます。

ついで、少しでも各団体の文化活動のPR等で会員の増強の一助になればと「文連だより」、「アルバム文連だより」を発行し、感染対策のもと活動する団体を取材、その内容をお届けするものです。

■ 2022年度新理事の紹介

2022年度は理事3名の交代がありました。

新理事に松本 美智子理事（寒川俳壇）、小島 宗一理事（寒川町盆栽会）、山本 博司（寒川音楽協会）が交代されました。また、「寒川町将棋愛好会」が文化連盟を退会致しました。



松本 美智子理事



小島 宗一理事

新任の理事（3名）



山本 博司 理事



飛石 靖利 前理事
（寒川俳壇）



平 静夫 前理事
（寒川町盆栽会）

交代の前理事



笹川 軍司 前理事
（寒川音楽協会）



渋井 正則 前理事
（寒川町将棋愛好会）

退会された前理事

■ 本部活動状況



第1回文化祭実行委員会
挨拶する田中秀昭会長（5月24日）。（寒川町将棋愛好会）



第3回本部役員会（7月5日）
校長会訪問の準備・日程など打合せ。



第3回文化祭実行委員会（8月3日）
キャッチコピーの選出作業
得票を集計する事務局（学び推進課）の
佐野さん（中央右）と佐藤さん。



第12回校長会訪問（8月26日）
文化連盟の活動、文化祭の日程
などを説明する田中会長。



第53回寒川町文化祭式典（10月1日）
表彰式で、キャッチコピーの受賞者に
賞状を授与する田中会長。



大澤文雄教育長
から祝辞を頂く。
教育長は10月末付けで退任
されました。
ご指導有難うございました。



第6回本部役員会（12月15日）
本年の事業の区切りがつき、当面の
日程等を調整する。



第6回理事会議（'23年3月10日）
本年度最後の理事会。
事業報告などの提出依頼や次年度
「文化ふれあいデー」関連のアイデア
や課題など意見収集。

第53回寒川町文化祭3年ぶりに開催

式典 10月1日（土） 13:30～町民センターホール

1. 会長挨拶（式典の挨拶）



こんにちは、第53回寒川町文化祭開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

町文化祭は、町内の文化団体が舞台発表、展示、大会等を行う文化芸術の祭典です。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響でここ2年間中止、今年は感染対策を講じて3年振りに開催することになりました。期間は、今日から11月4日迄です。

この2年間は、ご承知の通り新型コロナウイルス感染対策で「集まるな、密回避」で、私達の生活及び行動は一変、制約と制限を受け、マスクの着用、ソーシャルディスタンス等の「新生活様式」を強いられて来ています。

しかし、漸くコロナワクチン接種の効果か？感染者も減少傾向で、落ち着きを見せ、国も「Withコロナ」で行動制限や水際対策の緩和がされています。けれども、マスク着用の生活は、まだまだ続く様です。

こうした中、各文化団体の皆様には、町文化の継承、継続の「モチベーション」を切らさずに「うつらない、うつさない」の感染対策に心掛け、お稽古や練習等に工夫を凝らし、地道に活動を継続、発表もされてきたことに心より感謝申し上げますとともに敬意を表します。一方、残念ながら高齢化による会員減少

にコロナ禍が追い打ちをかけ、活動を中止せざるを得ない団体もありました。

しかし、3年ぶりに開催の文化祭を契機に、今年のキャッチコピーの「**寒川の未来へつなごう文化の輪**」を目指し、各団体にあっては、会員の増強及び次世代へ町文化の継承を更に努めて頂きたいとお願い申し上げる次第です。

さて、今年の文化祭は冒頭にも申し上げました通り、感染対策を講じての開催で、この式典の後のいつもの「ヤングダンスフェスタ」は見送り、各団体の発表・展示等は10月3日の美術展を皮切りに始まります。文化祭の日程、内容等は文化祭のチラシをご覧ください、久しぶりの文化祭をお楽しみいただきたいと思います。特別参加で寒川東中の「お茶席」もあります。

そして、このコロナ禍が終息し、マスクもはずせ、コロナが「普通の病気」として扱われることを期待しますが、これから冬場迎え、新たな感染の恐れもあると言われ、まだまだ油断出来ない状況と思われます。

終わりに、この文化祭が、つつがなく成功裡に終わり、各団体の更なる発展と各団体の会員並びに本日ご参加の皆様のご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。

有難うございました。 2022年10月1日
寒川町文化連盟 会長 田中 秀昭

2. 式典

コロナ第7波の終息の兆しが見えない中、国の緩和方針を踏まえ且つ過去3年間の感染対策の経験を活かし万全の体制下での開催となった。

式典は田中秀昭 文化祭実行委員長、木村俊雄 町長の主催挨拶で始まり佐藤一夫 議会議長、大澤文雄 教育長両氏の祝辞を頂いた。教育長から入選作品 伊藤昇汰さん（旭小学校4年生）の子供らしいキャッチコピー「わくわくどきどき感動の一日」の紹介が印象的であった。

キャッチコピー表彰

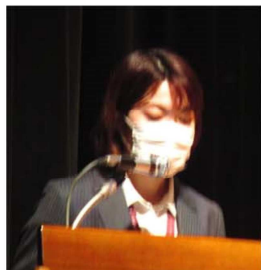
最優秀賞	松井 佐知子さん（前列中）	「寒川の未来へつなごう文化の輪」
優秀賞	石原 美枝子さん（ご欠席）	「文化祭 繋ぐ人の和 今年こそ」
入選	石原 美枝子さん（ 〃 ）	「羽ばたこう三年分の文化祭」
入選	安藤 榮 治さん（前列左）	「活力と希望のある町に」
入選	伊藤 昇 汰さん（前列右）	「わくわくどきどき感動の一日」



閉会後の記念撮影



手話 川上 増美さん



司会 佐藤 優希さん



手話 石川 繁子さん



賞状授与の様子

寒川町祭りばやし保存会連合会

祭りばやし演奏

10月1日（土）13:00～13:30 町民センター入口前



文化祭式典（町民センターホールで開催）を盛り上げる祭囃子、今年の担当は「岡田ばやし保存会（小澤宏史会長）」。
練習無しのぶっつけ本番だそう、その割には乱れも感じられず絶好調の演技(奏)だった・・・と思う。
写真右、一本足・・・結構格好いい。



本番前に撮影させて頂いた。



寒川町祭りばやし保存会連合会

祭りばやし演奏

11月3日（木）役場中庭広場

文化の日、終盤を迎えた文化祭の盛上げを担う

「倉見ばやし保存会」のお囃子が響く。

館内では、菊花展、呈茶席、色紙短冊展、俳句大会が開催中。



11時の演奏の前に、集まって頂き撮影。
やんちゃで可愛らしい面々でした。
後列中、磯川 彰さん（ご指導役）。



演奏を見る田中秀昭文化祭実行委員長（左）と小澤宏史 寒川町祭りばやし保存会会長

寒川美術協会 第53回寒川町文化祭美術展

令和4年10月3日(月)～9日(日) 寒川町民センター

第1室



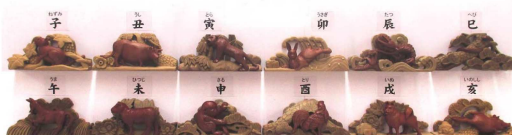
柘植 勝
《武器よさらば》
彫刻 65×50×30



池知 あゆみ
《聖観音菩薩像》
彫刻 43×13×13



山崎 賢治
《唐戸彫刻》



山崎 賢治
《十二支彫刻》



神奈川新聞社賞
陶芸A 25×18×14 陶芸B 22.5×14.5×12.5
小林 和代
《キャンドルハウスA・B》



秋澤 繁好
《大鉢》



横田 敦
《大鉢》



小林 正光
《500g House》



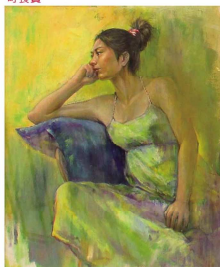
→
小林 正光
《三重塔》



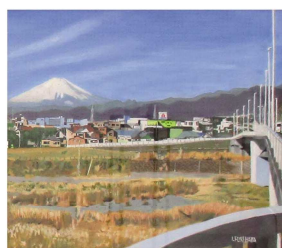
高橋 恵美子
《友人肖像Ⅱ》
油彩 F8号



元田 太
《ラメールでお茶》
水彩 F4号



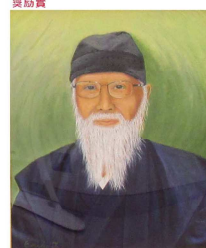
町長賞
元田 太
《アトリエの女性》
油彩 F12号



降幡 伊名男
《神川橋より富士山を望む》
油彩 F10号



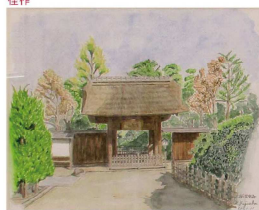
町議会議員賞
降幡 伊名男
《木曽郡開田村より御嶽山を望む》
油彩 F10号



奨励賞
高橋 恵美子
《友人肖像Ⅰ》
油彩 F8号



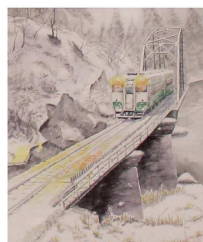
藤咲 功治
《北国道海野宿》
水彩 F6号



佳作
藤咲 功治
《大船常楽寺》
水彩 F6号



寒川ライオンズクラブ賞
中澤 義江
《君子欄》
水彩 F8号



山口 広
《ローカル線》
水彩 F6号



山口 広
《オリンピック》
水彩 F8号



金藤 英明
《百合ちゃん3才!》
油彩 F10号



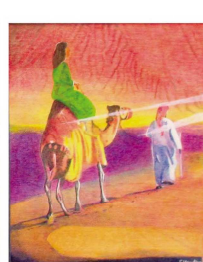
特別出品
制作期間
10年
←
山崎 賢治
《神輿》



松野 左武朗
《寒川水道記念館》
水彩 P12号



松野 左武朗
《奇彩ガーデン(Ⅰ)》
水彩 F10号



八ヶ代 伸一
《緑の大地を求めて》
水彩 F10号



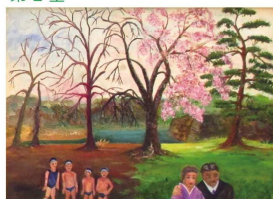
八ヶ代 伸一
《足跡》
水彩 59×76

(裏面に続く)

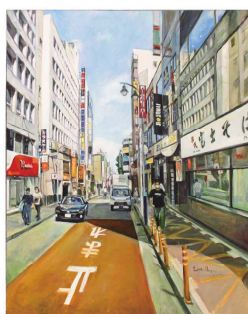
寒川美術協会 第53回寒川町文化祭美術展

令和4年10月9日(月)～9日(日) 寒川町民センター

第2室



上林 俊行
《色々な人生》
油彩 P20号



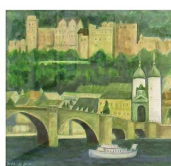
志柿 ロバ
《藤沢の町角》
油彩 F50号



上林 俊行
《サーファーたち》
油彩 P30号



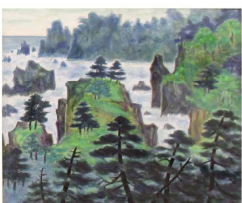
安藤 榮治
《リバーサイド 2》
水彩 P10号



飯尾 博美
《ハイデルベルグ》
水彩 F10号



吉留 美智子
《向日葵》
油彩 F30号



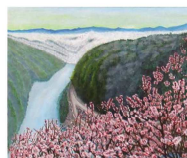
飯尾 博美
《岬》
油彩 F20



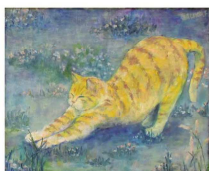
安藤 榮治
《2つのギター》
水彩 P10号



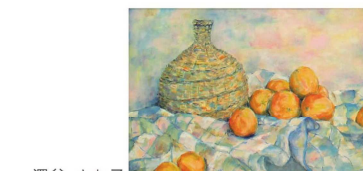
根岸 彰
《長野県白米の滝》
水彩 F8号



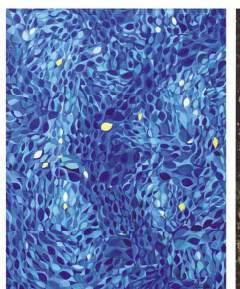
根岸 章
《奈良県月ヶ瀬梅林》
水彩 F8号



深谷 さち子
《ん~~~~》
油彩 F15



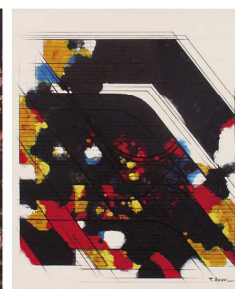
深谷 さち子
《おれんじ》
油彩 F20



鈴木 俊夫
《青のざわめき》
水彩 F50号



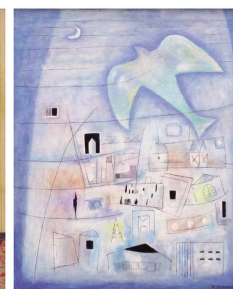
八幡 一郎
《凧の宙》
油彩 F30号



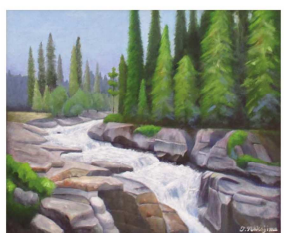
大貫 達雄
《山シリーズより
(雷鳥の棲む山)》
水彩 F30号



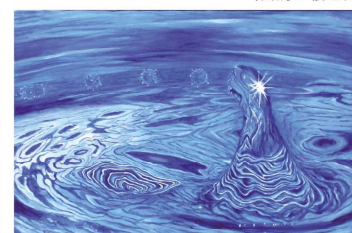
齋藤 浮子
《風のゆくえ》
水彩 F30号



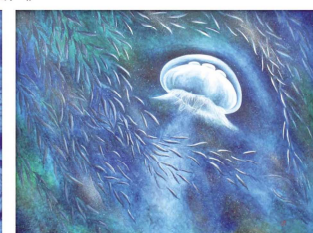
三留 雅子
《風に舞う》
水彩 F30号



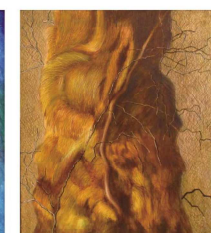
中島 豊二
《カナダ マリーン渓谷》
油彩 F20号



村松 弘昭
《ワクチン》
油彩 P30号



永山 ひとみ
《海原の月》
水彩 F30号



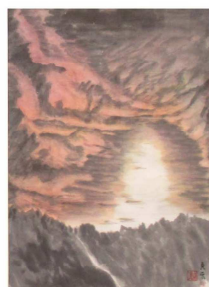
米丸 忠雄
《高 齢 樹》
油彩 F15号



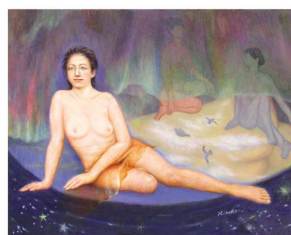
鈴木 光代
《友と見た彼岸花》
油彩 P15号



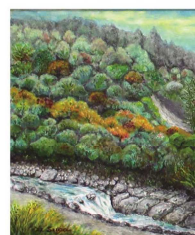
田中 博子
《裸写(ルノアル水浴)》
油彩 F4号



高橋 貞夫
《朝 焼 け》
水彩 P20号



田中 博子
《裸婦&オーロラ》
油彩 F50号



管 泰二
《山間の紅葉》
油彩 F10号



鈴木 光代
《映えてる！彼岸花》
油彩 F4号

3年ぶり寒川町文化祭開催

創作活動、生きること

マスク、手洗い・消毒は日常化、ワクチン予約に四苦八苦、うっかり風邪など罹ろうものなら医療拒否、定期的健康診断はやたら再診で検査の度に血液検査と尿検査、ついには恥ずかしいところに針を刺される有様。経済は多分悪化、続く円安と物価値上げは確定的、ガソリン補助も廃止の方針らしい、トホホである。

ロシアの武士道に反するウクライナいじめ、台湾問題に北の弾道ミサイルが列島を越える。

我が球団は開幕ダッシュに大失敗、開幕時点でシーズンは終わってしまった。3年間面会できずの身内が亡くなった、家族葬も自前でやった。

辛い3年間、各位其々それ以上のストレスをお持ちかもと鑑みる。

そんな毎日、創作活動を続けられた作品展が無事開催できた。

50号3点、30号8点、20号5点、4号から15号が26点でした。

どの作品も(彫刻・陶芸含む)、チャレンジ的で試行錯誤の様子が感じられ良く描きこまれた質の高い作品群、立派な展覧会であったと思います。

《寒川美術協会役員会》



《ワクチン》



《武器よさらば》

第53回寒川町文化祭 & 30周年記念写真展

令和4年10月11日（火）～ 16日（日） / 寒川町民センター展示室

出品者 会員 20名 作品数 40点 一般応募 3名4点 観覧者 378名

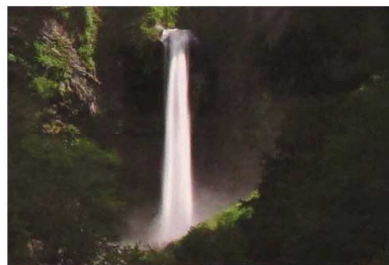


夕暮れの色



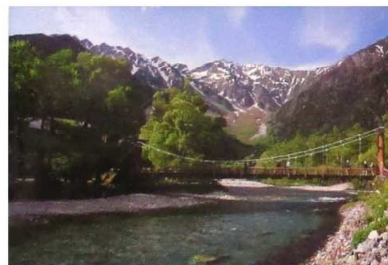
金子 茂利

虚像の世界

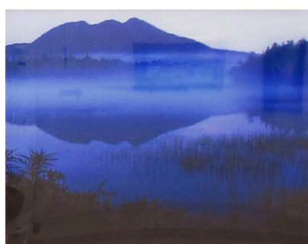


飛驒の名瀑

南 則夫



美しき山々



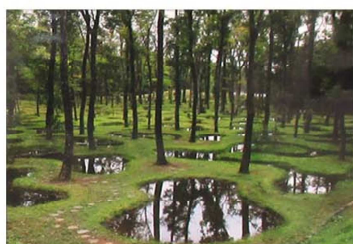
夜明けの尾瀬沼

伊藤 と志子



S字鉄橋を

渡るローカル線



ビオトープの森

原田 雅子



初秋の花



残雪

岡崎 倫江



梅雨の季節
岡崎 倫江



春の小川

塚越 富夫



夕暮れ

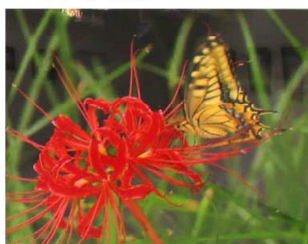


百花斉放

古賀 正敏



空中散歩



疲れた 休ませて

武藤 昭



家族総出で収穫

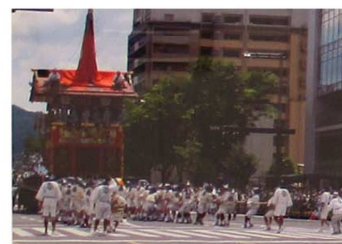


桜のトンネル

荒川 誠



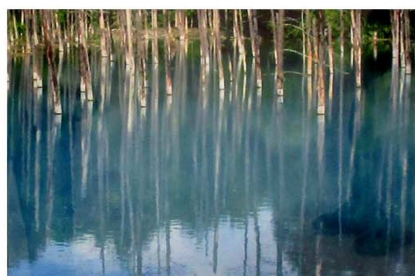
お！花嫁さんだ！



辻まわし
川七 誠一

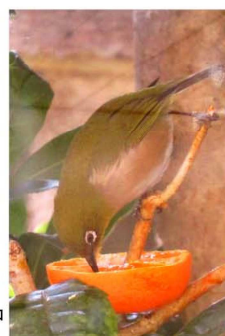


車方（くるまかた）
川七 誠一



青い池

安河内 栄子



食事中



第53回寒川町文化祭 & 30周年記念写真展



あんパン採れた

堀 洋己

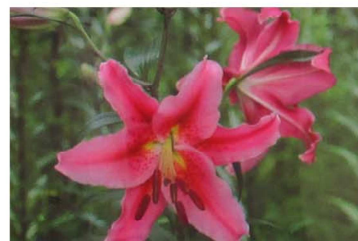


いらか(菫)

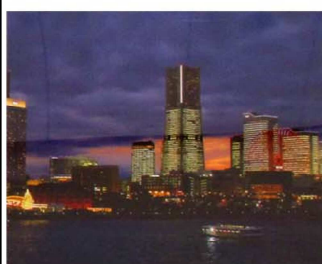


阿波踊り

櫻井 文男



百合

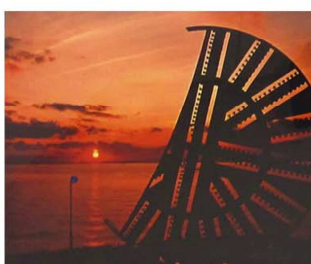


全灯の煌めき

森川 美知子



四季の移ろい

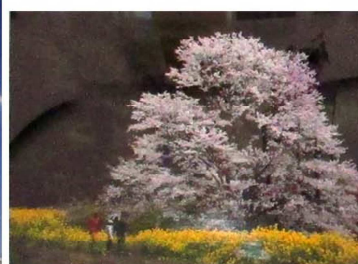


祈り

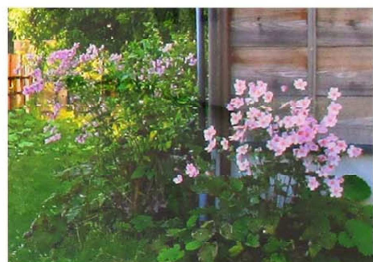
東海林 良子



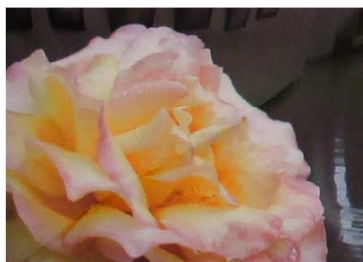
ウォーター富士



菩提の桜
渡辺 正敏



シュウメイギク
渡辺 正敏



平和

高橋 光恵



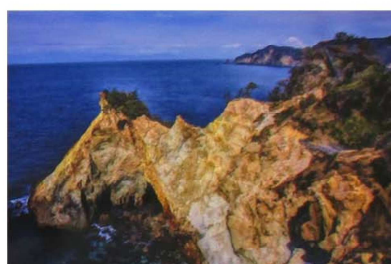
神水



二百万本の笑顔
中村 成信

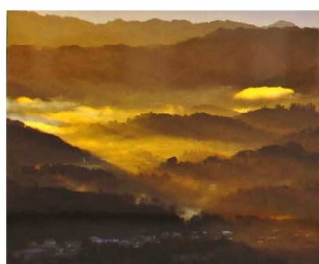


お堀端
中村 成信



馬ロック

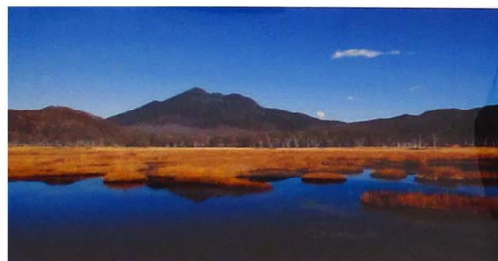
田中 秀昭



明け行く九十九谷

旅籠

亀山 誠一

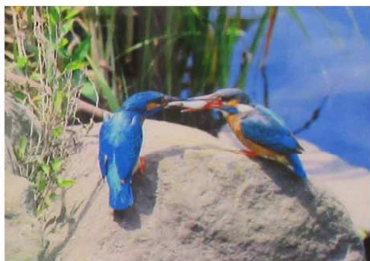


池塘の秋色
亀山 誠一



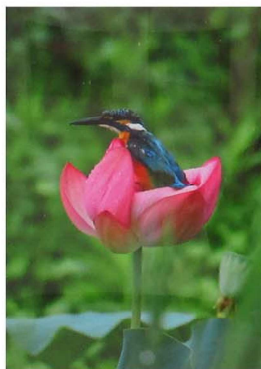
設営終了間際の最終確認をするスタッフ。

第53回寒川町文化祭 & 30周年記念写真展



給餌

大河 原一男



カップイン

カルガモの親子
安藤 榮治チェッカーボードオートバイ
アランD、ニュートン

ごあいさつ

本日はお忙しい中、第53回寒川町文化祭&30周年記念写真展にご来場頂き有難うございます。会員一同厚く御礼申し上げます。
さて、コロナ禍のため3年振りの文化祭に、当会創立30周年記念写真展を開催させて頂きます。写真の世界もデジタル化が進み、その変遷は著しく、ミラーレスカメラやスマホ等の機能・利便性から写真を楽しむ人達、特に女性の方が増えてきたと思います。
こうした中、当会の会員メンバーも入れ替りしましたが、高齢化とコロナ禍で、活動範囲等狭められはしましたが、日頃撮り貯めた中から自選の作品発表です。ご高覧の程お願い申し上げます。
会員一同は、互いに切磋琢磨し、尚一層の技術向上を目指すと共に、少しでも地域文化の一助になればと思っております。
ついでに、今後共、温かくご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

追記

勝手ながら後日の礼状を省略させていただき本状をもって御礼とさせていただきます。

寒川写友会 会長 南 則夫

寒川写友会のあゆみ

- ・平成3(1991)年 寒川公民館事業「写真教室」(講師:臼居一雄先生)の受講者有志によって「寒川写真クラブ」(初代会長:蛭田敏夫)を公民館活動のサークルとして結成、以後公民館活動(例会:第1土曜日、公民館まつりに参加等)を継続。
- ・平成7(1995)年 寒川町文化連盟に加入、以後文化祭等に積極参加。
- ・平成8(1996)年 名称を「写友会」に変更。
- ・平成11(1999)年 2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)「写真展」(於:茅ヶ崎市)参加
- ・平成14(2002)年 田中喜三郎 会長に就任
「相模線沿線魅力アップ写真コンクール」(於:町民センター)実行委員長を担当
- ・平成17(2005)年 名称を「寒川写友会」に改める。
- ・平成19(2007)年 15周年記念写真展開催
- ・平成23(2011)年 2市1町写真展「湘南芸術交流会写真展」(於:茅ヶ崎市)参加
- ・平成24(2012)年 20周年記念写真展開催(記念写真集作成)
- ・平成28(2016)年 青少年文化ふれあいデー(文化連盟主催)で「こどもカメラマン作品展」開催
- ・平成29(2017)年 南 則夫 会長に就任 現在に至る。
- ・平成29(2017)年 25周年記念写真展開催(記念写真集作成)

No	作品名	撮影月・場所	作者名
1	夕暮れ色	10月 小出川	金子 茂利
	虚像の世界	5月 御射鹿池(長野県)	
2	飛騨の名瀑	5月 平湯大滝(高山市)	南 則夫
	美しき山々	6月 上高地(松本市)	
3	夜明けの尾瀬沼	7月 尾 瀬(福島県)	伊藤と志子
	S字鉄橋を渡るローカル線	8月 浜松市天竜区(静岡県)	
4	ピオトープの森	10月 那 須	原田 雅子
	初秋の花	9月 伊勢原	
5	残 雪	6月 スイス	岡崎 倫枝
	梅雨の季節	6月 藤 沢	
6	春の小川	3月 寒川神社参道裏(目久尻川)	塚越 富夫
	夕暮れ	6月 箱根町大観山	
7	百花斉放	7月 湯河原海岸	古賀 正敏
	空中散歩	11月 佐賀バルーンフェスタ	
8	疲れた 休ませて	9月 茅ヶ崎市芹沢	武藤 昭
	家族総出で収穫	10月 藤沢市宮原	
9	桜のトンネル	3月 松田山	荒川 誠
	お！花嫁さんだ！	3月 三溪園	
10	辻まわし	7月 京都祇園	川七 誠一
	車方(くるまかた)	7月 京都祇園	
11	青い池	7月 美瑛(北海道)	安河内栄子
	食事中	1月 寒川町(自宅)	
12	あんパン取れた	5月 一之宮八幡宮(寒川町)	堀 洋己
	いらか(簾)	6月 鎌倉・建長寺	
13	阿波踊り	8月 大和市	櫻井 文男
	百 合	6月 可睡ゆり園(静岡県)	
14	電灯の煌めき	12月 横浜港	森川美知子
	四季の移ろい	12月 横浜三溪園	
15	祈 り	10月 東 京	東海林良子
	ウォーター富士	1月 寒川町	

No	作品名	撮影月・場所	作者名
16	菩提の桜	3月 秦野市	渡辺 正敏
	シュウメイギク	10月 鎌 倉	
17	平 和	5月 旧吉田茂邸	高橋 光恵
	神 水	7月 神楽山神苑	
18	二百万本の笑顔	8月 北竜町(北海道)	中村 成信
	お堀端	4月 小田原城	
19	馬ロック	2月 西伊豆・黄金崎	田中 秀昭
	明け行く九十九谷	12月 鹿野山(千葉県)	
20	旅 籠	10月 長野県木曾町	亀山 誠一
	池塘の秋色	10月 尾瀬ヶ原	
一般応募作品			
	作品名	撮影場所	作者名
	給 餌	目久尻川	大河原一男
	カップイン	蟹ヶ谷公園	
	カルガモの親子	目久尻川	安藤 榮治
	チェッカーボード オートバイ	町 田	アランD、ニュートン